



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 GMOメディア株式会社
 コード番号 6180 URL <http://www.gmo.media/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 森 輝幸
 (氏名) 石橋 正剛
 TEL 03-5456-2626

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,443		197		195		180	
2019年12月期第3四半期								

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 180百万円 (%) 2019年12月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	104.99	
2019年12月期第3四半期		

(注) 当社は2019年12月期第3四半期は非連結での業績を開示していましたが、2020年12月期第1四半期より連結業績を開示しているため、2019年第3四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	3,569	2,109	59.1
2019年12月期			

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,109百万円 2019年12月期 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2020年12月期	0.00	0.00	0.00		
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700		600		600		600		344.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) GMOくまポン株式会社、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	1,868,839 株	2019年12月期	1,868,839 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	157,400 株	2019年12月期	127,374 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	1,723,445 株	2019年12月期3Q	1,740,093 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
当社は、2020年11月6日に決算補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が解除されたものの、接触による感染や先行きに対する不安から萎縮効果が生じており、経済活動の停滞が続いております。

このような経営環境の中、当社は、経営リソースの選択と集中をすすめるべく、前事業年度より引き続き、自社及びパートナー媒体におけるアフィリエイト広告の強化、5G時代へ向けたHTML5ゲームプラットフォーム強化、プログラミング教育ポータル強化、お得なEC体験を提供するクーポン事業強化という4つの成長の柱を掲げて事業成長に取り組んでまいりました。

飲食店や美容クリニック、プログラミング教室の利用などリアルな人の移動に伴う事業については、新型コロナウイルス感染症による萎縮効果の影響を受け、6月以降回復しつつあるものの、依然として弱含みに推移しております。また、アドネットワークの広告単価についても6月以降回復基調にあります。一方、クレジットカード会社などの広告出稿控えの影響から、アフィリエイト広告については依然として低調に推移しております。

当社では、メディア事業の収益構造を多様化させるために、上記4つの方針に沿って戦略的に投資を進める方針は変わらないものの、投資のタイミング及び内容については、新型コロナウイルス感染症の影響を注視しながら、慎重かつ積極的に進めていく予定になります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は3,443百万円、営業損失は197百万円、経常損失は195百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は180百万円となりました。

セグメント別の業績については、以下の通りになります。

① メディア事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、リアルな人の移動を伴う事業の弱含みとアフィリエイト広告不調の影響が生じております。また、「コエテコ」への継続的な投資に加えて、「キレイパス」についてもプロモーションのための投資を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるメディア事業の売上高は2,620百万円、営業損失は193百万円となりました。

② その他メディア支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部業種の広告主による広告出稿控えが生じました。

その結果、当第3四半期連結累計期間におけるその他メディア支援事業の売上高は823百万円、営業損失は4百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,569百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が665百万円、関係会社預け金が1,400百万円、売掛金が625百万円であります。

負債は1,459百万円となりました。主な内訳は、買掛金が333百万円、未払金が392百万円、ポイント引当金が643百万円であります。

純資産は2,109百万円となりました。内訳は、資本金が761百万円、資本剰余金が842百万円、利益剰余金が599百万円、自己株式が93百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2020年2月6日発表の業績予想から変更はございません。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況は、現時点においては業績に与える影響が軽微であります。今後の経過によっては、当社の事業活動及び収益に大きな影響を及ぼす可能性があり、その場合には業績予想の修正を行う可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、GMOくまポン株式会社の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。また、GMOくまポン株式会社は当社の特定子会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	665,794
関係会社預け金	1,400,000
売掛金	625,755
商品	31,238
貯蔵品	13,043
その他	143,369
貸倒引当金	△863
流動資産合計	2,878,338
固定資産	
有形固定資産	41,239
無形固定資産	
のれん	157,533
その他	138,426
無形固定資産合計	295,960
投資その他の資産	353,642
固定資産合計	690,842
資産合計	3,569,180
負債の部	
流動負債	
買掛金	333,739
未払金	392,648
未払法人税等	4,554
ポイント引当金	643,041
その他	64,792
流動負債合計	1,438,775
固定負債	
資産除去債務	11,582
その他	9,498
固定負債合計	21,080
負債合計	1,459,856

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2020年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	761,977
資本剰余金	842,127
利益剰余金	599,215
自己株式	△93,997
株主資本合計	2,109,323
純資産合計	2,109,323
負債純資産合計	3,569,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,443,417
売上原価	2,631,790
売上総利益	811,626
販売費及び一般管理費	1,009,082
営業損失(△)	△197,455
営業外収益	
受取利息	838
助成金収入	1,271
雑収入	742
営業外収益合計	2,853
営業外費用	
支払利息	675
支払手数料	397
その他	18
営業外費用合計	1,091
経常損失(△)	△195,694
税金等調整前四半期純損失(△)	△195,694
法人税、住民税及び事業税	2,586
法人税等調整額	△17,326
法人税等合計	△14,739
四半期純損失(△)	△180,954
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△180,954

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△180,954
四半期包括利益	△180,954
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△180,954

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	メディア事業	その他メディア支援事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,620,382	823,035	3,443,417
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,620,382	823,035	3,443,417
セグメント損失(△)	△193,405	△4,050	△197,455

(注) 1. セグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. セグメント損失には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大による影響)

当社グループの事業は、その業務のほとんどの部分についてリモートワークによる対応が可能であり、新型コロナウイルス感染症の拡大による業務遂行への影響は軽微であります。また、新型コロナウイルス感染症による経済活動への萎縮効果が生じておりますが、当社では今後の情勢に関する各種情報等をもとに、かかる影響については翌事業年度中に除去されていくものと仮定しております。

当第3四半期連結累計期間における会計上の見積もり（繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計の適用等）については、この仮定を加味した予測数値によって実施しており、その結果、当四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は不透明であり、今後上述の仮定が見込まれなくなった場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。